

レジャー&サービス産業展 特別セミナー

商業・集客施設の賑わいを創出する開発戦略〈全2講座〉 ——賑わいを創出する「体験型書店」(TSUTAYA 蔦屋書店)の新戦略／「商業施設」の新たな価値の創造手法 「最新ホテル」「IR(統合型リゾート)」マーケット分析〈全4講座〉 ——IR(統合型リゾート)／会員制ホテル／アパートメントホテル／ホテル事業投資・評価手法

レジャー&サービス産業展2025

日時：10月22日(水)・23日(木)
会場：西3・4ホール内 特設セミナー会場
定員：各50名(申込み先着順)
受講料：5,500円(1講座1名様につき。消費税込)

講座のお申込みは展示会Webサイトから

レジャー&サービス産業展

検索



■お申込み方法(クレジットカード決済)

- ①展示会Webサイトの本セミナー紹介ページから、お一人ずつお申し込みください。
https://www.sogo-unicom.co.jp/lsi/seminar.html
- ②参加費のお支払いは、お申込み時にクレジットカード決済にてお願いいたします(1回払いのみ)。
- ③お申込み完了後、ご登録のメールアドレスに自動返信メールが届きます。当日は受講するセミナー会場の受付にて、申込講座が記載された返信メールのプリントアウトかスマートフォン等の画面と、お名刺1枚を受付担当にご提示ください。お名刺は受講1講座ごとに頂戴いたします。

■お申込み・受講時のご注意

- お申込みが正常に完了した場合、自動返信で申込完了の確認メールをお送りします。確認メールが届かない場合は、申込みが完了していない、または登録のメールアドレスが間違っている可能性がございますので、お手数ですが下記事務局までご連絡ください。
 - 各講座のお申込みは先着順で、定員に達し次第、締め切らせていただきます。
 - 各講座の内容を無断で新聞・雑誌・Web・SNS等に掲載すること、および講演の録音・撮影、講演中の会場内での通話はお断りいたします。
 - 諸事情により予告なく講座の中止や内容・講師の変更が生じる場合があります。
- ※1 いずれの場合もお申込み後のキャンセルおよび払い戻しはいたしかねます。予めご了承ください。
※2 ご登録いただきました個人情報は、講座の適切な運営ならびに当社の商品案内のために利用させていただきます。

■お問合せ

総合エディコム株式会社 企画事業部内 セミナー事務局
TEL. 03-3563-0050 ※お問合せ時間 10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

10月22日(水) 1日目

A-1 10:30~12:00 商業・集客施設の賑わいを創出する開発戦略 ① 5,500円

地域に交流を生む『体験型書店』を目指すTSUTAYAの戦略 ——豊かな読書体験、空間価値を提供し、新しい店舗モデルを創造

- カルチャ・エクスペリエンスのご紹介
- 「よりよく生きる」ための地域交流の場である書店としてのTSUTAYA
- 『体験型書店』で実現したいこと、具体的に取り組んでいる事業
- 今後のTSUTAYAが目指す方向性



鎌浦 慎一郎 カルチャ・エクスペリエンス(株) 代表取締役社長

1998年にカルチャ・コンビニエンス・クラブ(株)(CCC)入社。TSUTAYA事業を経て、2013年に武雄市図書館を立ち上げ、14年に福岡市との起業支援「スタートアップカフェ」を開業。16年に(株)九州TSUTAYAの代表取締役社長に就任、CCCでの地域戦略事業を展開。19年よりTSUTAYA FC本部にてBOOK事業本部長、22年にCCC執行役員 TSUTAYA事業管掌に就任(現任)。23年10月よりカルチャ・エクスペリエンス(株)代表取締役社長に就任(現任)。

A-2 13:00~14:30 最新ホテル・IR(統合型リゾート)マーケット分析 ① 5,500円

『IR(統合型リゾート)ビジネス』の現状と今後のビジネスチャンス！ ——2030年までとその先のビジネスチャンスを解説！

- 日本のIRビジネスのこれまでの流れと現状
- 日本のIRビジネスの今後のタイムライン、市場規模、事業機会
- 日本のIRの候補地、有力関連事業者の動向
- 世界各国のIR市場、事業者、ビジネスの現状と展望
- 2030年までとその先！事業者タイプ別のビジネスチャンスと取り組み方法



小池 隆由 キャピタル&イノベーション(株) 代表取締役

日本を代表するIR産業の専門家であり、国際的な産業・企業財務分析の専門家としても活躍。山一証券、ドイツ証券、ゴールドマン・サックス証券など投資銀行において、通算20年強を証券アナリストとして活動。日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)、米国公認会計士(US CPA)。2013年キャピタル&イノベーション(株)を設立し、国内外のIR関連の調査分析業務を多数受託すると共に、2つのインターネット事業を展開(ビジネス情報データベース&メディア「カシノIRジャパン」)。ビジネスマッチング基盤「統合型リゾート(IR)ビジネスコネク」。

A-3 15:00~16:30 最新ホテル・IR(統合型リゾート)マーケット分析 ② 5,500円

先行企業から学ぶ！ 『会員制ホテル』事業の最新動向と事業参入のポイント！ ——驚異のキャピタルゲインを生み出す仕組みを解説！

- 会員制ホテル事業の概要
- 先行企業の取り組み事例から学ぶ最新動向
- 会員制ホテルの『儲けのカラクリ』
- 会員制ホテル事業参入のポイント



石井 くるみ 会員制ホテル事業構築アドバイザー 行政書士

宿泊事業及び不動産・金融事業分野における新規事業の構築コンサルティングを提供。ホテル・旅館業・民泊分野、及び、宅建業・建設業等の不動産関連事業の許可可を専門に扱うだけでなく、不動産特定共同事業法等の金融規制に精通する専門家としてプロフェッショナルを対象にコンサルティングを実施。2020年国土交通省設置「不動産特定共同事業(FTK)の多様な活用手法検討会総括会」委員、21年一般社団法人不動産特定共同事業事業者協議会アドバイザー就任。宅地建物取引士。

10月23日(木) 2日目

A-4 10:30~12:00 最新ホテル・IR(統合型リゾート)マーケット分析 ③ 5,500円

『アパートメントホテル』のビジネスモデルと最新動向 ——「インバウンドの中長期・グループ宿泊需要」こそビジネスチャンス！

- ホテルマーケットを取り巻く最新動向
- 中長期滞在・グループ宿泊需要の動向
- 高利益を生み出す新ホテルタイプ『アパートメントホテル』とは？
- 主要プレイヤーとエリア別の開発動向
- アパートメントホテル事業参入のポイント
- マーケットレポートサンプルをベースとした分析手法



山田 耕司 一般財団法人日本不動産研究所 専門プロジェクト室 室長 チーフアナリスト

都市銀行の不動産ファイナンス部門を経て、一般財団法人日本不動産研究所(JREI)に入所。2012年より専門プロジェクト室にて、主にホテル・旅館・ゴルフ場・テーマパークなどレジャーアセットのバリュエーション・マーケットリサーチ業務に従事。17年に金融機関へ出向の後、19年より現職。現在、全国のオペレーショナルアセットのバリュエーション業務と投資家・レンダー・事業者向けに全アセットのマーケットレポートサービスを提供する専門プロジェクト室の統括責任者として活躍中。ADR算出プログラムの特許権発明者。不動産鑑定士。

A-5 12:30~14:00 最新ホテル・IR(統合型リゾート)マーケット分析 ④ 5,500円

『ホテル』事業の最新動向とマーケット分析！ ——宿泊事業を検討する上での重要ポイント

- 顧客ニーズの変化や旅行動向、インバウンド市場
- インバウンド市場を見据えたホテル事業評価の視点から見たパフォーマンスの変化
- 新たなフェーズにおける、ホテル事業性やホテル事業投資のポイントとSDGs
- 昨今の不動産賃貸借契約条件の動向
- 投資アセットとしての『レジャーホテル』のポテンシャル



北村 剛史 (株)日本ホテルアプレイザル 代表取締役

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科博士後期課程所定単位取得退学。2000年に(株)谷澤総合鑑定所に入社、(旧)産業再生機構に出向し、店舗評価から事業再生・事業分野にも参画。06年より現職、海外を含めた全国のホテル、旅館の不動産鑑定評価を担当。13年文部科学省「国立青少年教育施設の組織・制度の見直し等の基本調査」委員。(株)サクラクオリティマネジメント代表取締役。不動産鑑定士(日本)、MAI(米国不動産鑑定士)、CRE(米国不動産カウンセラー)、FRICS(英国ロイヤル・チャータード・サバイヤーズ協会フェロー/英国不動産鑑定士)。

A-6 14:20~15:50 商業・集客施設の賑わいを創出する開発戦略 ② 5,500円

レジャー化する『商業施設』 ——アメリカの先行事例に学ぶ、新たな潮流と“場”の価値創造

- 『商業施設』の現在の立ち位置と変化への期待
- 激変する『アメリカの商業施設』(ECのインパクトとモールビジネスの衰退)
- 5つの注目トレンド
①マーケットプレイス ②メディアセンター ③LIVE + WORK + PLAY
④タウンセンター ⑤メインストリート/ダウンタウンの復活



矢木 達也 (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長

筑波大学社会学部都市計画学科卒業。大手百貨店を経て、1987年に(株)ビーエーシー・アーバンプロジェクトに入社、2006年代表取締役社長に就任。店舗賃料データ「ReReM(リリム)」などオリジナルの調査システムを駆使し、ショッピングセンター等商業施設に特化したマーケットレポートの情報発信や、商業施設を投資対象としたデューデリジェンス業務におけるレポート作成、開発・リニューアル時のマーケティングやコンサルティングを行なう。同社レポートは投資家からの信頼も厚い。